「自立」「共生」「貢献」

福生市立福生第一中学校

一中だより

福生市熊川８４５
電　話　042（551）0321
ＦＡＸ　042（530）7447

１１月号
令和８年 10 月 30 日

福生一中ホームページ　NEW→ https://fussa-1j.hs.fussa.school/
学校の日々の様子をブログにて紹介しています。

学校行事を通して『磨く』

統括校長　金子　敏治



３学年合唱「春に」

～金色の　寺に着せるは　秋の空～　この俳句は、修学旅行後の国語の授業で、生徒が創作した作品です。この句に表されているように、好天に恵まれた中、生徒たちは 10 月９日（金）から２泊３日の日程で京都・奈良を訪れました。新幹線に初めて乗り、出発直後に「わぁ」と思わず声を上げる生徒、京都と奈良の位置関係や、鹿がいる県を確認し合う生徒など、修学旅行には生徒一人一人にとって初めての経験がたくさん詰まっています。事前学習を経て、歴史的・文化的に価値ある数々の史跡や文化財を実際に自分の目で見学したときの感動、班ごとに計画を立て生徒たちだけで行動する経験、奈良公園で鹿と触れ合ったり、宿舎で仲間と食事をしたり、楽しく語り合ったりする時間。さらに、送り出してくれた家族へのお土産を考えるひととき。こうした一つ一つの経験が、学校での学びと結び付き、生徒一人一人の生きた知識となり、確かな学びへとつながっていきます。普段 iPad や携帯電話などのデジタル機器が身近にある生徒たちにとって、それらを使えない不便さを感じる環境の中で、人と直接コミュニケーションをとることや、実物を自分の目で見て、感じ、考えることの大切さを改めて実感する貴重な機会となりました。１年生の国語の教科書にあった『「不便」の価値を見つめ直す』の内容が生かされた生徒もいたのではないでしょうか。

また、先週は市民会館で合唱コンクールを開催しました。３年生にとっては、修学旅行後、わずか２週間での本番でした。しかも、最初の一週間は感染症の拡大が懸念され、マスクの着用などの制限がある中で練習に取り組みました。それでも、さすがは３年生です。実行委員を中心に、試行錯誤を重ねながら、限られた条件の中で何ができるかを考え、どのクラスも素晴らしい合唱を創り上げました。一人では表現できないことでも、仲間と声を重ね合わせることで表現できるようになります。そして、その歌声は、聴く人々に感動を届けます。ここに人が合唱することの素晴らしさや価値があるのだと思います。

思春期の真っただ中にあり、成長の途上にある中学生たちが、これからも学校行事をはじめとする様々な経験を通して、自分自身を磨き続けていくことを期待しています。